

<https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/>

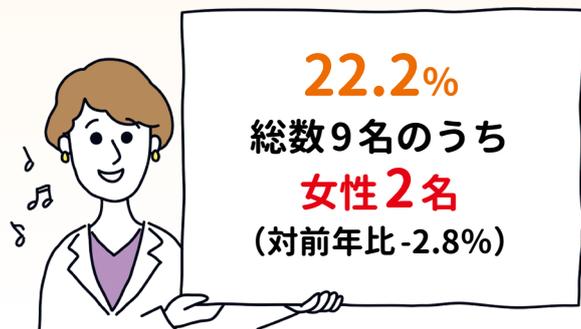
CONTENTS

- 01 ■数字で見る信州大学の男女共同参画（[役員][管理職][教員の採用]における女性比率）
- 02 ■数字で見る信州大学の男女共同参画（教員における女性比率）  
■令和2年度男女共同参画講義終了報告
- 03 ■理学部長インタビュー ■メンタリングのご案内
- 04 ■NEWS&TOPICS ■子育てコラムリレー

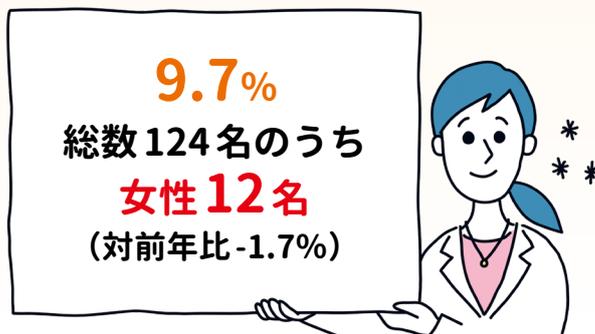
## 数字で見る信州大学の男女共同参画

信州大学における男女共同参画の現状はどうなっているのか。今回は、役員における女性比率、管理職における女性比率、教員の採用における女性比率、教員における女性比率をお伝えしていきます。

### 1 役員における女性比率※

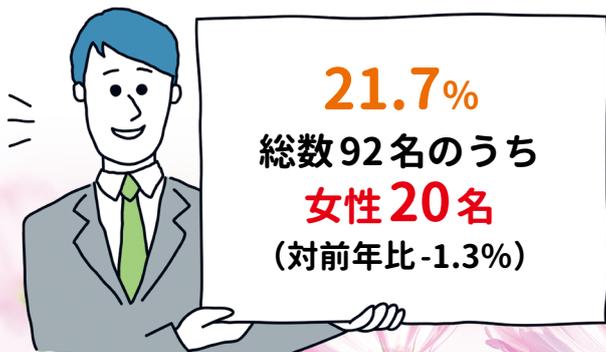


### 2 管理職における女性比率※



※令和2年5月1日現在

### 3 教員の採用における女性比率 (令和元年度実績)



信州大学は『第3期中期目標・中期計画(平成28年度～平成33年度)』において、「平成27年4月1日現在約6.8%である女性教職員の管理職比率を平成28年度に10%以上とし、その後の増員を図り、第3期中期目標期間を通じて女性教職員の在職比率を高めるとともに、女性教職員の人材育成を進める。」としています。平成28年度には女性管理職比率は10.1%に上昇し、その後も目標である10%以上をキープしていましたが、今年度は9.7%にダウンしました。これは評議員に女性がなくなったこと、課長職の女性は増加したが、部長職の女性は0名のままであることなどが要因です。

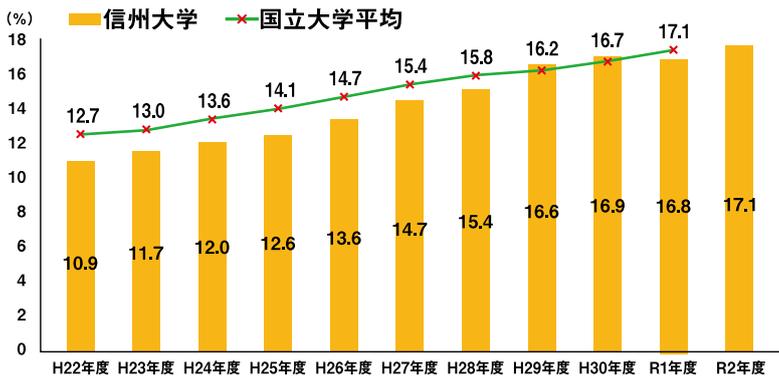
#### 女性管理職増員のための取組

将来の事務職員における女性管理職候補者養成のため、平成28年度から毎年度、「女性リーダー研修」を実施しています。令和2年度はe-learning形式での開催を予定しています。今後、施策の継続・強化により目標値の達成を目指してまいります。



# 数字で見る信州大学の男女共同参画

## 4 教員における女性比率



(出典：国立大学協会「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査報告書」)

信州大学における女性教員比率は、17.1%となっています(令和2年5月1日現在(助手除く))。本学が本格的に男女共同参画推進活動(女性研究者研究活動支援事業)に取り組み始めた平成23年度より年々着実に増加していますが、まだまだ低いのが現状です。

国立大学の平均と比較すると、平成29年度に初めて平均を上回りましたが、令和元年度には再び平均を下回りました。令和2年度の国立大学の平均はまだ公表されていませんが、平均を上回るのは厳しい見込みです。今後、女性教員増加のための施策等をさらに強化していかなければなりません。

## 令和2年度男女共同参画講義

### 「人生100年時代のキャリアビジョン」が終了しました。

#### 共通教育【基礎系・現代社会論】

男女共同参画推進センター運営委員会主催の講義も令和2年度で5年目となりました。今年度から、共通教育カリキュラムの中の【基礎系・現代社会論】として開講され、これまでで最多となる99名の学生が履修しました。

今年度はコロナ禍で前期の講義形式がe-learningに変更になり、多くの外部講師を予定していた本講義は大幅な内容変更を余儀なくされましたが、多くの先生方の協力を得て、大きなトラブルもなく、無事、全15回の講義を終えることができました。

講義はオムニバス形式で様々な分野の先生に「ジェンダー」、「キャリア」などをテーマに講義を行っていただき、受講した学生にとって今までの自分を見直し、将来について深く考えるきっかけになったようです。

#### 受講した学生の感想(アンケートより抜粋)

- 現代を生き抜く上で重要な意味を持つ学習が出来たと思う。特に自分はジェンダーの問題に興味があるので、とても良い学びになったと思う。
- キャリア教育というと今まであまり深く考えたことはなかったが、この講義を通してキャリアやジェンダーなどの社会問題も一緒に考えることができ、非常に有意義な講義だった。教育課程にバイアスがかかっているとは考えたこともなかった。
- この講義を通じ、知っているつもりでも知らなかったことが多々あることに気づき、改めて学ぶ姿勢だけでなく、自らの将来についても考えることができた。
- 第13回のZoomでのグループディスカッションが楽しかったです。

回	講義タイトル(形式)	担当教員(所属)
第1回	講義概要(オンデマンド動画)	中島美帆(理学部)、関利恵子(経法学部)
第2回	平等とは何か、人権とは何か(オンデマンド動画)	加藤善子(高等教育研究センター)
第3回	格差の構造(オンデマンド動画)	加藤善子(高等教育研究センター)
第4回	文系・理系とジェンダー(オンデマンド動画)	中島美帆(理学部)
第5回	科学とバイアス(オンデマンド動画)	中島美帆(理学部)
第6回	「就活」と社会を考える(オンデマンド動画)	中島美帆(理学部)
第7回	バリアとインクルーシブ(オンデマンド動画)	加藤彩乃(全学教育機構)
第8回	男性と育児(資料配布)	坂口けさみ(長野保健医療大学教授)
第9回	セクシャルマイノリティ/LGBTと社会を考える(オンデマンド動画)	中島美帆(理学部)
第10回	作業ではなく仕事をするための働き方改革(オンデマンド動画[YouTube])	石井宏宗(サンシングループ代表)
第11回	ワークライフバランス(オンデマンド動画)	間宮敬子(医学部)
第12回	学校教育とキャリア教育(オンデマンド動画)	荒井英治郎(教職支援センター)
第13回	料理とジェンダー(Zoomによるリアルタイム授業)	高崎禎子(教育学部)
第14回	未来の家族を考える(Zoomによるリアルタイム授業)	香山瑞恵(工学部)
第15回	講義総括(オンデマンド動画)	中島美帆(理学部)、関利恵子(経法学部)

#### 今日のキーワード

- ・格差問題
- ・男女格差
- ・教育におけるジェンダー問題
- ・隠れたカリキュラム
- ・ジェンダー・トラッキング
- ・成功不安



第3回「格差の構造」(高等教育研究センター加藤善子先生)のオンデマンド講義の様子

男女共同参画推進センターでは来年度も男女共同参画講義を開講する予定です。この講義を通じ、学生が自分自身の中にあるアンコンシャス・バイアスに気づき、多様な“もの・こと”に対する柔軟な思考・対応ができるようになることを期待します。

# 理学部 吉田孝紀学部長 インタビュー

令和2年4月1日付で新たに理学部長に就任された吉田孝紀学部長に、理学部における男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて中島男女共同参画推進センター長がインタビューしました。(令和2年6月26日取材)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用したまま対談を行いました。

## 【理学部の男女共同参画について】



よしだ こうき  
吉田 孝紀  
理学部長

理学部の教員の男女比率にはとても大きな開きがあります(令和2年2月現在 女性教員比率9.68%)。私の学生時代から女子学生・大学院生の割合はとても低く、それが研究者にも引き継がれていることが大きな問題だと思います。

大学院生でみると、地球学では3割程度は女子です。学部に入学者女子学生も3割程度です。野外調査を行う際など体力面で悩むこともあります。理系の学問の中にはむしろ女性のほうが向いていると思う分野はたくさんあり、データを地道にとるような分野は女性のほうが向いている傾向にあると思います。また大胆に物事を切り開くような分野と、細かく切り分けていく分野に分けると、女性のほうがバランスが取れていると思うことは多々あります。いろんな素養を持った人がいるということが学問分野、社会ではとても重要だと思います。また理学部の女子学生に様々な分野で活躍している女性のロールモデルを示していけば大学院進学者も増え、就職する人もいろんな分野に進出し、男女差がないような社会を意識できるのではないかと考えています。ただ、男性ばかりの環境に慣れてしまっていると、そのことの異常さに気が付かないことがありますので、常に男女を意識していかなければならないと思っています。

## 【理学部の働き方、ワーク・ライフ・バランスについて】

理学部では、事務職員はワーク・ライフ・バランス、男女格差のない働き方というのが実現できています。今年はコロナ禍の中で在宅勤務が当たり前になってきました。また会議が遅くまでかかることがあったため、今年度から会議の開始時間を早く設定し、遅くとも17時までには終わらせるようにしています。ワーク・ライフ・バランスに気を付けて、健康で安全な形で仕事が進められるよう配慮しています。

教員についてはコロナ禍の中で、教授会もオンラインでできるということがわかりました。新しいフェーズに突入したところで、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの適正化が進んでいくのではないかと思います。



## 【これから目指すこと】

これまでは女子学生や女性研究者の力を十分に生かしきれていなくて逃げられていたという部分もあると思います。研究ポテンシャルを上げるためにも、まずは学生比率を男女1対1にし、将来的には教員比率もそのようになるべきだと思います。

インタビュー全文は男女共同参画推進センターのウェブサイトに掲載しています。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/>

## メンタリングのご案内



男女共同参画推進センターでは、本学教員が、よき先輩研究者として相談に応じるメンタリングを実施しています。研究生活を継続していくうえで戸惑いを感じたり、不安になったりしたとき、メンターが研究や教育上の課題解決を支援しキャリア発達を支えます。

対象は本学の女性研究者、女子大学院生、配偶者が研究者の男性研究者です。

一人で悩まず、まずはお気軽にご相談ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/initiatives/mentor.php>

## 令和2年度(10-3月期)研究補助者制度の利用者が決定しました

本学の研究者が育児や介護等のライフイベントと研究活動を両立できるよう、令和2年度(10-3月期)の研究補助者制度の利用希望者を募集し、厳正な審査の上、利用者を決定しました。

**選考結果** 利用決定者9名(女性8名、男性1名)

## ベビーシッター派遣事業割引券の配付を開始しました

令和2年度のベビーシッター派遣事業割引券の配付を開始しました。令和2年度は通常利用と、新型コロナウイルス感染症対策で小学校等が臨時休校等になった場合の特例措置利用があります。

内容	通常利用	特例措置利用
1日の利用上限枚数(※)	1枚/子ども1人	5枚/子ども1人
1か月の利用上限枚数	24枚/家庭	120枚/家庭
年間の利用上限枚数	280枚/家庭	上限なし
割引料について	雑所得	非課税所得

※1枚につき、2,200円の割引が受けられます。

お申込みは男女共同参画推進センターまで。詳細はこちらからご覧ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/support/babysitter.php>



このコラムは、本学で子育てをしながらお仕事をされている教職員の方に、日頃の育児の様子をご紹介いただくコーナーです。

子どもは11歳の長男を筆頭に、8歳の長女、4歳の次女と3人の子育てをしております。最近、コロナ禍で、できるだけ感染リスクを減らしながら楽しく暮らすかを考えています。家の小さな畑には、6月に植えた、きゅうりやミニトマトが最盛期をむかえ、毎日沢山の实をつけてくれますが、子ども達



には草むしりや、毎日の水くれ、収穫をお願いしています。また、新たに任天堂Switchのリングフィットを買ったので、汗だくになりながら皆で運動しています。長男は長女を、長女は次女の面倒をよく見てくれるので、子



きた せい よし ゆき  
**北清 義之** 主査 | 医学部附属病院  
医事課医事係



### 家族構成

長男(11歳)、長女(8歳)、  
次女(4歳)

### あなたのリラックス方法は？

お香を焚いて瞑想

ども達だけで遊ぶことができ、少し手が離れて自分の時間が取りやすくなりました。

私は、料理が得意なのでお弁当作りを妻と交代で行ったり、週末は子ども達と一緒に料理を作ったりしています。子育ては本当にこれで良いのかと、日々考えることがあります。これからは父性をできるだけ浴びせながら、独り立ちできるまで育てあげたいと思います。



### 次回はこの方!

**重藤 聖子** 主任臨床検査技師  
医学部附属病院臨床検査部



お問い合わせ  
**信州大学 男女共同参画推進センター (SuFRE)**

〒390-8621 松本市旭 3-1-1  
内線 811-2150, 811-2140  
TEL 0263-37-3150 FAX 0263-37-3314  
mail [sufre@shinshu-u.ac.jp](mailto:sufre@shinshu-u.ac.jp)

教育学部分室 〒380-8544 長野市西長野 6-0  
内線 831-4018  
工学部分室 〒380-8533 長野市若里 4-17-1  
内線 821-5693  
農学部分室 〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304  
内線 851-3120  
繊維学部分室 〒386-8567 上田市常田 3-15-1  
内線 841-5031

信州大学 スフレ

検索

バックナンバーはこちらからご覧いただけます。 ▶ <https://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/article/sufre/>